(起案:APU 教学部)

2022 年度秋セメスター「特殊講義(共通教養科目)」の自己点検・評価と 2023 年度「情報リテラシー」について

1. 自己点検・評価実施の背景

政府の「AI 戦略 2019~人・産業・地域・政府全てに AI~」(令和元年 6 月 11 日統合イノベーション戦略推進会議決定)では、その目標として「デジタル社会の基礎知識(いわゆる「読み・書き・そろばん」的な素養)である「数理・データサイエンス・AI」に関する知識・技能、新たな社会の在り方や製品・サービスをデザインするために必要な基礎力など、持続可能な社会の創り手として必要な力を全ての国民が育み、社会のあらゆる分野で人材が活躍することを目指す」ことが掲げられている。

このような情勢を受けて、本学でも「APU データサイエンスプログラム(基礎)」として、2022 年度秋セメスターに「特殊講義(共通教養科目)」をオンデマンド形式で開講した。(2022 年度秋セメスターでの特殊講義(共通教養科目)の開講について(2022 年 4 月 26 日大学評議会))

本教育プログラムの質を保証し、次年度以降に更なるプログラム改善をするために、授業評価アンケートと独自アンケートの集計と分析結果を報告し、以下に自己点検・評価を実施する。

2. 「APU データサイエンスプログラム (基礎)」自己点検・評価

(1) 科目概要

講義名	特殊講義(共通教養科目)JI
	特殊講義(共通教養科目)EI
分野	共通教養科目(社会ニーズ ・基礎スキル系)
配当セメ	100 番台
開講言語	日・英
定員	65 名
開講形態	オンデマンド
成績評価	P/F
開講	秋セメスター第2クオーター
セメスター	
授業概要	このコースでは、インターネットとデータサイエンスについて、基本的
(シラバスよ	な概念、データ処理能力、データサイエンスへの入門知識、ビジネスへ
9)	の応用と情報倫理に関する認識について、実社会の状況を踏まえながら

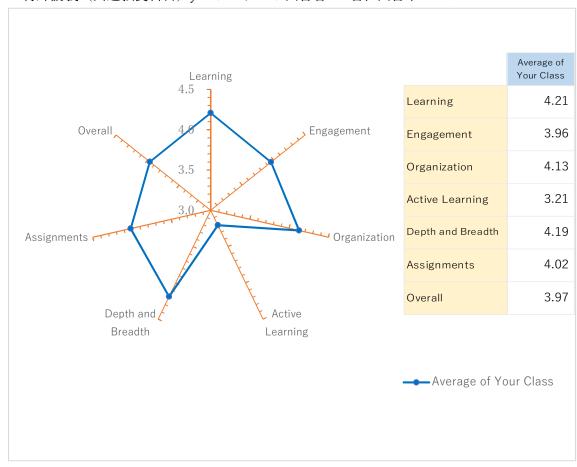
	説明します。情報リテラシー(1)インターネット、データ、社会の変化
	(2)データの収集、読み取り、加工、活用(3)データサイエンスにおける AI の技術動向(4)AI とデータサイエンスの応用と情報倫理に関する最
	新のビジネス動向を紹介します。
成績担当教員	NISHANTHA Giguruwa APS 教授

(2) 履修者数と修得者数

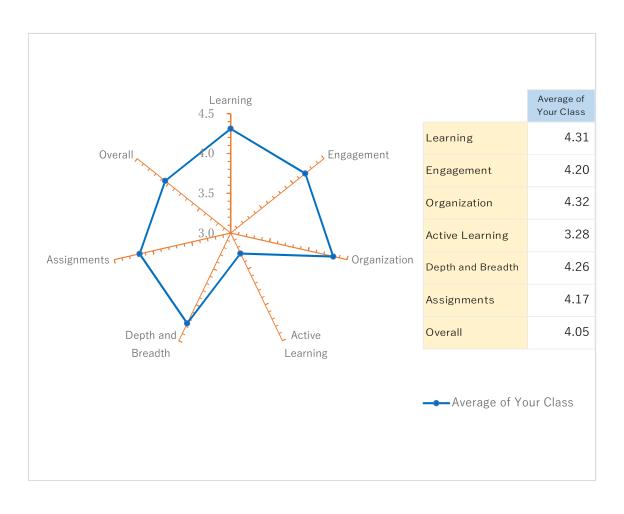
講義名	履修者数	修得者数	修得率
特殊講義(共通教養科目)JI	65	60	92%
特殊講義(共通教養科目)EI	65	61	94%

(3) 授業評価アンケートについて

・特殊講義(共通教養科目)JI:アンケート回答者 29 名、回答率 44.6%



・特殊講義(共通教養科目) EI:アンケート回答者 29 名、回答率 44.6%



・その他共通教養科目との比較

質問種別	共通教養科目	特集講義	特殊講義
貝印性加	全体平均	JI	EI
Learning/学生の学び	4.19	4.21	4.31
Engagement/姿勢、関わり、熱意	4.23	3.96	4.20
Organization/授業設計	4.19	4.13	4.32
Active Learning/アクティブラーニング	4.06	3.21	3.28
Depth and Breadth/学びの深み・広がり	4.25	4.19	4.26
Assignments/課題	4.09	4.02	4.17
Overall/全体	4.07	3.97	4.05

・点検・評価

manaba を通じた教員からの呼びかけにより、日本語開講クラス、英語開講クラス共に、2021 年度秋セメスターの共通教養科目の回答率 33.89%を上回る 44.6%の回答率を得ることが出来た。英語開講クラスの方が、日本語開講クラスよりも全体的に高い評価が出ているが、回答は両クラスとも似た傾向にあり、Active Learning の値が当科目の他の項目

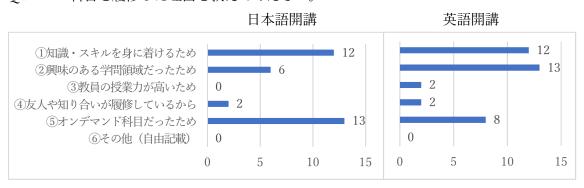
や他の共通教養科目の Active Learning の値と比べて低い結果となった。オンデマンド科目であっても学生間の意見交換や担当教員への質問の機会を確保できるように、LMSのディスカッション機能を使用していたが、今後の授業運営にあたっては学生からの質問への回答のあり方など、さらなる工夫を検討する必要がある。Learning は高い値を示しているため、学生に数理・データサイエンス・AI の基礎的素養を身に付けるさせることができたと考えられる。Over all は他の学部講義とほぼ同等の数値(2021 年度学部講義全体Average 4.06)であった。

(4)「特殊講義(共通教養科目)」独自アンケートについて

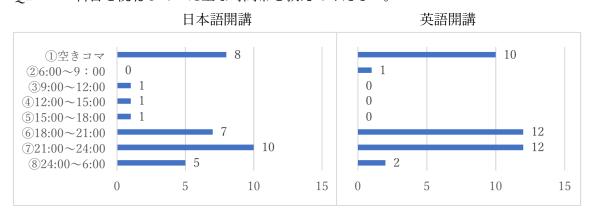
本科目は他の科目と開講形態が異なるため、通常の授業評価アンケートに加えて、オンデマンド科目独自の質問項目を用いたアンケート調査も行った。

- ・特殊講義(共通教養科目) II:アンケート回答者 33 名、回答率 50.0%
- ・特殊講義(共通教養科目) EI:アンケート回答者38名、回答率58.4%

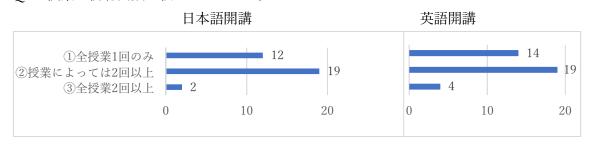
Q1:この科目を履修した理由を教えてください。



O2:この科目を視聴していた主な時間帯を教えてください。



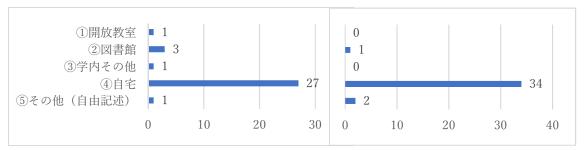
O3:授業の視聴回数を教えてください。



Q4:授業の主な視聴場所はどこでしたか。

日本語開講

英語開講



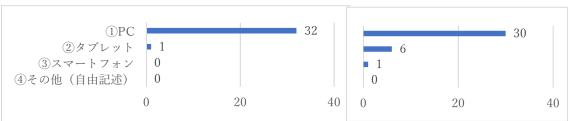
Q5:一時停止や速度調整、巻き戻しを行うことがありましたか。

英語開講 日本語開講 ①あった 35 2 ②なかった 0 10 20 30 40 10 0 20 30 40

O6:授業を視聴していたデバイスを教えてください。

日本語開講

英語開講

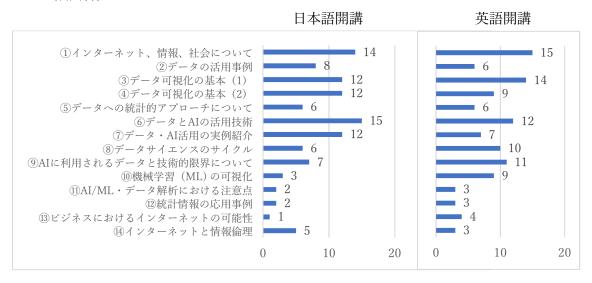


O7: オンデマンド科目でよかったことがあれば教えてください。(複数回答)

日本語開講 英語開講 ①好きな時間に授業を受けられる 34 23 ②好きな場所で授業を受けられる 18 ③何度も見直せる 25 ④速度調整や一時停止が可能 1 ⑤特にない ■ 1 20 0 20 40 40

- Q8:オンデマンド科目で悪かったことがあれば教えてください。(自由記述) ※原文ママ、一部抜粋
- ・先生に質問することができません
- ・自己管理する必要がある
- ・小テストへの答えがすぐに分からない

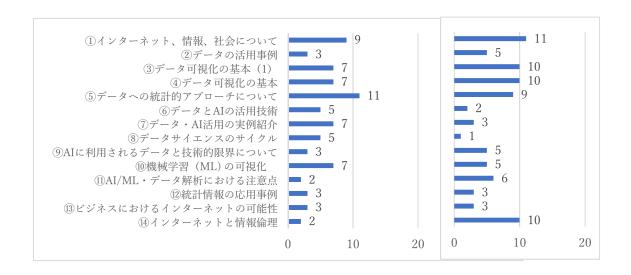
- ・先生によって Quiz の形式が違うこと
- ・目が疲れる点
- ・わからないところがあっても質問しづらい
- ・緊張感がないため、だらけてしまう
- ・最初はシステムがよくわからなかった。
- Q9:オンデマンド科目をする上で大変だった点などがあれば教えてください。(自由記述) ※原文ママ、一部抜粋
- 先生と話せません
- ・画面を集中すると目が大変
- ・ネット環境が悪いとき
- ・自由な時間帯で受けられる分、溜め込んでしまう時もあった。
- ・いちいちメールを送らなければならないので、質問がしにくい。
- ・長時間見るのが難しい
- Q10:オンデマンド科目の授業テーマの中で特に良かったものを3つ挙げてください。(複数回答)



Q11: オンデマンド科目の授業テーマの中で特に悪かったものを3つ挙げてください。(複数回答)

日本語開講

英語開講



- Q12: 教員や TA、受講生同士で、さらに学び合いを促進するアイデアがあれば教えてください。(自由記述) ※原文ママ、一部抜粋
- ・学生が自分でソフトウェアを操作するための課題を今より多く提供できます
- ・掲示板を用いたディスカッションを奨励すること。
- ・オープンチャットのようなものを作り、そこでみんなが質問しあえるようにするのはどうでしょうか。
- ・毎回の講義の最後に質問を受け付けて、次週に manaba で回答などのシステムがあると 良いと思う
- ・オンデマンドの授業は個人的にやりやすいと感じたのでこれから APU でも授業スタイルの一つとして選択できたら良いなと感じた。
- ・いくつかのモジュールには小テストが含まれていますが、これは多すぎるように感じます。 クイズよりも、教授があるトピックについて学生に意見を求め、学生がコメント を残せるようなオプションを画面に表示したほうが、より魅力的かもしれません。
- ・全体的に、このコースはとてもよかったです。新しい経験でしたし、コースの時間が自由に決められるので、とても便利でした。このようなタイプのコースは、APUでもっと宣伝されるべきです。

・自己点検・評価

Q1の履修動機は「知識・スキルを身に着けるため」と「興味のある学問領域だったため」、「オンデマンド科目だったため」が多くなっている。「知識・スキルを身に着けるため」と「興味のある学問領域だったため」が多いことから、情報処理スキル修得の需要の高さが伺える。「オンデマンド科目だったため」の回答が多かったのは、Q3以降の質問にもある、複数回授業を視聴できること、難しい内容の箇所は一時停止や速度調整をおこなえること、好きな時間・場所で受講できることが要因だと考えられる。授業を2回以上視

聴した学生や一時停止や巻き戻しを行った学生も多く、学生がオンデマンドの強みを活か した受講をしていたことが分かる。

Q7のオンデマンド科目でよかった点については、好きな時間に受講できることと回答 した学生が多かったが、好きな時間に受講できることはメリットの一つだが、動画視聴の 時間帯が深夜に偏っていることには留意する必要がある。

Q8、9のオンデマンド科目の悪かった点と大変だった点については、特になしという回答が多かったが、教員とのコミュニケーションの難しさをあげる学生も複数いた。Q12でのアクティブラーニング促進のアイデアでは、LMSのディスカッション機能をより活発に使用したほうがよいとの回答が複数あったため、改善に努める。

3. 2023年度以降の「情報リテラシー」について

2022 年秋セメスターに開講した「特殊講義(共通教養科目)」の後継科目として、2023 年春セメスターより「情報リテラシー」を以下の通り開講する。

中春セメスターより「旧報リナブシー」を以下の通り用語する。 			
講義名	2023 年度春セメスター講義名		
	情報リテラシーJA		
	情報リテラシーJB		
	情報リテラシーJC		
	情報リテラシーEA		
分野	共通教養科目(世界市民基盤分野)		
配当セメ	100 番台		
履修対象	2023 年度カリキュラム全学部 1 セメスター生		
履修登録方法	1 セメスター自動登録科目として、大学が事前に履修登録を行う。学生		
	自身が履修の必要がないと判断した場合は、履修登録 B 期間および修		
	正 1 期間で取消可能。取消後に再度自身で履修登録することも可能。		
	2セメスター以上、2回生以上編転入学生は履修不可。		
開講言語	日・英		
定員	245 名		
開講形態	オンデマンド		
成績評価	P/F		
開講	春/秋セメスター		
セメスター			
授業概要	このコースでは、インターネットとデータサイエンスについて、基本的		
(シラバスよ	な概念、データ処理能力、データサイエンスへの入門知識、ビジネスへ		
9)	の応用と情報倫理に関する認識について、実社会の状況を踏まえながら		
	説明します。情報リテラシー(1)インターネット、データ、社会の変化		
	(2)データの収集、読み取り、加工、活用(3)データサイエンスにおける		

	AI の技術動向(4)AI とデータサイエンスの応用と情報倫理に関する最
	新のビジネス動向を紹介します。
成績担当教員	2023 年度春セメスター成績担当教員
	NISHANTHA Giguruwa APS 教授(JA、EA)
	DAHLAN Nariman EDLSC 准教授(JB)
	NGUYEN Chung Huu EDLSC 非常勤講師(JC)
TA	当該科目については全1セメスター生を対象としており、授業内容に
	ついての質問や技術的なサポートが必要となることが想定されるため、
	2023 年度春セメスターにおける講義 TA の配置方針と運用について
	(2023 年 1 月 23 日教学委員会)のうち、教学部長が判断する科目
	(方針 A-3)に基づき、各クラス 2 名の TA を配置することとする。な
	お、TA の配置は 2023 年度春セメスターに限ったものとし、2023 年度
	春セメスターの TA の稼働状況を踏まえ、秋セメスターの配置について
	は別途判断する。

以上